



ECのレベル分けの仕組み

ECの英語力向上保証

ECで週30レッスンの授業を受講した場合、ECでは下記のチャートのように英語力を伸ばせることを保証します。万が一この通りに伸びていない場合には、ECではきめ細かなカウンセリングを通じて、必要なレベルに達するまでサポートを続けます。そのために生じる追加費用は一切ありません。

皆さんがすべきことは下記の3つのみです

- 英語を学ぶ意志をしっかりと持つこと
- 全授業に出席すること
- 宿題とテストを必ず提出すること

レベル分け

ECオンラインのレベルテストを受けて、自分の英語力をチェック。実際の留学までの時間も使って、今まで学校で習った英語の知識を思い出し、現地での勉強に備えましょう。

学校が始まったら、スピーキングとライティングのチェックを受けて、実際に入るクラスが決まります。最初の間はリスニングやスピーキングでつまづくこともあります。数日間は海外での授業に慣れることに重点を置き、様子を見てみることをおすすめします。

レベルアップ

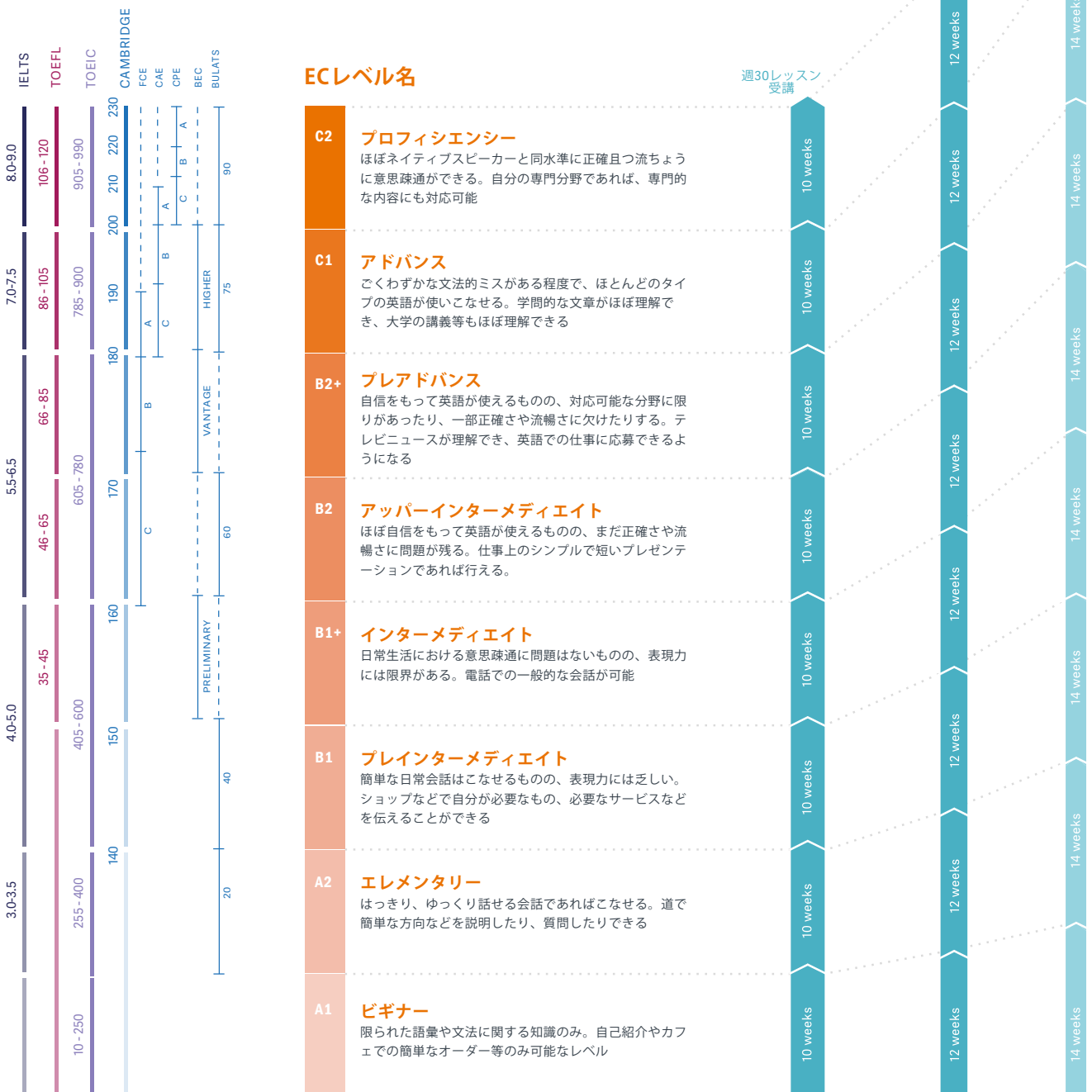
ECのレベルテストは6週間に1回、クラス単位ではなく各自学校のPCを利用して行われます。上のレベルに上がれるかどうかは、テスト結果と、授業中のスピーキング、授業への参加度や出席率、提出物等、先生の総合判断によって決まります。

もしもテスト後すぐに上のクラスに上がれなかった場合、先生の推薦があれば、次の6週間後を待たずに再テストを受け、上のクラスに上がる場合もあります。

週20レッスン受講

週24レッスン受講

週30レッスン受講



ECレベル名

- C2 プロフィエンシー**
ほぼネイティブスピーカーと同水準に正確且つ流ちょうに意思疎通ができる。自分の専門分野であれば、専門的な内容にも対応可能
- C1 アドバンス**
ごくわずかな文法的ミスがある程度で、ほとんどのタイプの英語が使いこなせる。学問的な文章がほぼ理解でき、大学の講義等もほぼ理解できる
- B2+ プレアドバンス**
自信をもって英語が使えるものの、対応可能な分野に限りがあったり、一部正確さや流暢さに欠けたりする。テレビニュースが理解でき、英語での仕事に応募できるようになる
- B2 アッパーインターメディエイト**
ほぼ自信をもって英語が使えるものの、まだ正確さや流暢さに問題が残る。仕事上のシンプルで短いプレゼンテーションであれば行える。
- B1+ インターメディエイト**
日常生活における意思疎通に問題はないものの、表現力には限界がある。電話での一般的な会話が可能
- B1 プレインターメディエイト**
簡単な日常会話はこなせるものの、表現力には乏しい。ショッピングなどで自分が必要なもの、必要なサービスなどを伝えることができる
- A2 エレメンタリー**
はっきり、ゆっくり話せる会話であればこなせる。道で簡単な方向などを説明したり、質問したりできる
- A1 ビギナー**
限られた語彙や文法に関する知識のみ。自己紹介やカフェでの簡単なオーダー等のみ可能なレベル

*データはECのコース開始時テスト、卒業テストを受けた学生のデータを含む2016年から2017年の1年間のデータを基にしています。